

平成26年度 公益財団法人山形県体育協会 事業報告

1 スポーツ振興に関する事業

(1) 生涯スポーツの推進

- ①地域体育協会の活性化を図った。
 - ・地区体育協会連絡協議会への活動支援と連携（8地区）
 - ・市町村体育協会との連携
- ②総合型地域スポーツクラブの活性化を図った。
 - ・総合型地域スポーツクラブへの活動支援
 - ・クラブリーダーの育成

(2) スポーツ指導者の養成と活用

- ①スポーツ指導者養成講習会を開催した。
- ②県スポーツ指導者研修会を開催した。
 - 期日：平成26年11月15日（土）
 - 場所：県総合運動公園 2階大会議室
 - 内容：講演Ⅰ「傷害予防のためのコンディショニングの考え方」
県アスレティックトレーナー連絡協議会代表 矢萩 裕 氏
 - 講演Ⅱ「スポーツ指導の勘どころ
～その技と心～ 体罰の根絶を目指して」
福島大学人間発達文化学類教授 白石 豊 氏
- ③県スポーツ指導者連絡協議会との連携を図った。

(3) 普及事業の推進

- ①県縦断駅伝競走大会への支援を行った。
- ②県少年少女スポーツ交流大会への支援を行った。
- ③県高等学校体育連盟・県中学校体育連盟への活動支援と連携を図った。

(4) 競技団体活動の支援

国体正式競技種目以外の17競技に対して活動支援事業を行った。

(5) 企業スポーツ活動への支援

企業スポーツの育成と活性化を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」へ支援を行った。

(6) 顕彰に関する事業

本県スポーツの発展に貢献した個人・団体に対し、本会表彰規程に基づき、次の表彰を行った。（山形県スポーツ賞・山形県体育協会表彰授賞式として開催）

- ①殊勲賞 27名・6団体
- ②奨励賞 23名・1団体
- ③功労賞 19名・ライオンズスポーツ賞7名
- ④感謝状 1名

(7) 広報に関する事業

- ①ホームページの充実を図り、体協活動の積極的な情報を提供した。
 - ・体協活動の発信

- ・協賛企業・会員の募集等
- ②県体協機関紙「スポーツ山形」100・101号を発行した。
- ③スポーツ少年団広報誌「大空に翔る」30号を発行した。

(8) 日韓青少年夏季スポーツ交流事業 (H26～27)

日体協の主催事業として韓国で行われたバスケットボール、卓球、バドミントンの3競技の交流事業について114名の小中学生・指導者等の派遣支援を行った。

(9) 山形県スポーツ会館管理事業

本県スポーツ団体の拠点施設として、適切な管理運営を行った。

2 少年スポーツの振興に関する事業

ジュニアスポーツの活性化と青少年の健全育成を目標に事業を推進した。

(1) スポーツ少年団の普及と活動の充実

- ①指導者の育成と指導者組織の充実を図った。
 - ・山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会の実施
178名参加 平成26年11月15日(土) (いこいの村庄内)
 - ・スポーツ少年団認定員養成講習会の実施
66名参加 平成26年10月18日(土)～19日(日) (飯豊町中部地区公民館)
82名参加 平成26年10月25日(土)～26日(日) (酒田市武道館)
75名参加 平成26年11月1日(土)～2日(日) (大石田町役場他)
72名参加 平成26年11月8日(土)～9日(日) (金山町農村環境改善センター他)
67名参加 平成26年11月8日(土)～9日(日) (鶴岡市朝暘武道館)
220名参加 平成26年11月22日(土)～23日(日) (ヒルズサンピア山形)
98名参加 平成26年12月6日(土)～7日(日) (西川町民体育館他)
 - ・東北ブロック指導者研究協議会の実施
3名参加 平成26年11月13日(木)～14日(金) (秋田ビューホテル)
- ②関係機関・団体との連携の充実を図った。
 - ・市町村スポ少・スポ安事務担当者研修会の実施
64名参加 平成27年2月27日(金) (山形県スポーツ会館)
- ③リーダーの養成と活動環境の充実を図った。
 - ・ジュニア・リーダースクールの実施
38名参加 平成26年8月8日(金)～10日(日) (山形県海浜自然の家)
 - ・北海道・東北ブロックリーダー研究大会への派遣
6名参加 平成26年11月1日(土)～3日(月) (泉岳ふれあい館)
- ④各種交流事業の充実を図った。
 - ・山形県少年少女スポーツ交流大会の実施 (16競技)
4,573名参加 平成26年10月5日(日)(主会期) (県内各地区会場)
 - ・山形県スポーツ少年大会の実施
92名参加 平成26年8月8日(金)～10日(日) (山形県海浜自然の家)
 - ・日独スポーツ少年団同時交流事業の実施
4名参加 平成26年8月1日(金)～18日(月)(派遣) (ドイツ各地)
6名受入 平成26年7月29日(火)～8月2日(月)(受入) (西村山地区各地)
- ⑤各専門委員会の活性化を図った。

(2) 青少年の健全育成

- ①加盟団体があらゆるスポーツ活動の機会を通して、「フェアプレー精神」の高揚を図った。
- ②体罰等の根絶について指導徹底を図った。
- ③環境に配慮するスポーツマンの育成を図った。

3 競技力の向上に関する事業

全国大会及び世界で活躍する選手の育成と支援を図った。

(1) 国民体育大会及び東北総合体育大会に係る事業

- ①第69回本国体県予選会・70回国体冬季大会県予選会を開催した。

第69回本国体県予選会

- ・本大会（主会期） 7月11日（金）～13日（日）（県内各地）
競技 5, 507名参加（68回：5,495名）

第70回国体冬季大会県予選会

- ・アイスホッケー 11月8日（土）～9日（日）（ヒルズサンピア山形）
61名参加（69回：52名）
- ・スケート 12月13日（土）（山形市総合スポセン）
43名参加（69回：21名）
- ・スキー 平成27年1月16日（金）～20日（火）
ジャイアントスラローム（蔵王温泉スキー場）
100名参加（69回：113名）
クロスカントリー（坊平高原クロカンコース）
55名参加（69回：92名）
ジャンプ・コンバインド（蔵王ジャンプ場、坊平高原クロカンコース）
8名参加（69回：10名）

- ②第41回東北総合体育大会に参加した。

- ・主会期 8月22日（金）～24日（日）（福島県下）
33競技 1006名参加（40回：721名）

- ③第69回本国体・70回国体冬季大会に参加した。

○第69回本国体

- ・主会期 10月11日（土）～10月23日（木）（長崎県下）
32競技、公開競技2競技 492名参加（68回：496名）

<第69回国民体育大会成績>

天皇杯得点870, 0点（68回：974, 5点）第30位（68回：19位）
皇后杯得点453, 5点（68回：508, 5点）第32位（68回：23位）

○第70回国体冬季大会

- ・スケート競技
平成27年1月28日（水）～2月1日（日）（群馬県渋川市）
31名参加（69回：28名）
- ・アイスホッケー競技
平成27年1月28日（水）～2月1日（日）（渋川市・高崎市）
参加なし

・スキー競技

平成27年2月20日（金）～23日（月）（群馬県片品村）

81名参加（69回：92名）

＜第70回国民体育大会冬季大会成績＞

天皇杯得点142, 0点（69回：172点）第10位（69回：5位）

皇后杯得点56, 0点（69回：30点）第5位（69回：24位）

④強化環境の整備を図るために、強化コーチングスタッフ及び強化指定選手の指定を行なった。551名指定（監督・コーチ117名、選手434名）

（2）スポーツ医科学支援体制の充実

- ①国民体育大会・東北総合体育大会へ帯同ドクター・帯同トレーナーの派遣を行い、医科学的サポートを行った。
- ②アンチ・ドーピング啓発を行った。
- ③日本体育協公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレティックトレーナーの資格取得促進と活用を図った。
- ④県事業スポーツ医科学支援事業への協力支援を行った。
- ⑤スポーツ医科学活動報告書を作成した。

（3）優秀指導者・選手確保事業

優秀指導者・選手をスポーツ指導員及びスポーツ技術員として確保し、本県の競技力の向上を図った。

（4）競技強化支援事業

- ①競技スポーツの普及・強化を図るために、スポーツ関係団体が実施する事業を支援した。
- ②ジュニア層の育成を図るため、研修会の実施及び「次代を担う子どもの元気アップ推進事業」を支援した。

（5）国際競技大会出場監督・選手への激励

- ①国際競技大会出場監督・選手へ延30名に対して激励を行った。
- ②本県出身のオリンピック選手輩出に向けて、国際大会に出場する高校生4名に対し大会自己負担金の補助を行った。

（6）スポーツタレント発掘事業への支援

将来のトップアスリート育成を計画的に実施する「スポーツタレント発掘事業」への取り組みと支援を行った。

4 財政の確立と組織体制の充実

（1）財政基盤の確立

将来を見通した計画的な運営を行うとともに、賛助会員の拡大等を精力的に推進した。

《参 考》

1 開催会議等

- | | |
|---------------------------|----------|
| ① 県体協理事会 | 2回 |
| ② 県体協評議員会 | 2回 |
| ③ 県体協各専門委員会 | 委員会毎随時開催 |
| ④ 国民体育大会監督会議 | 1回 |
| ⑤ 国体県予選会実行委員会・運営委員会 | 1回 |
| ⑥ 少年少女スポーツ交流大会実行委員会・運営委員会 | 3回 |

2 出席会議等

- | | |
|-------------------------------|----|
| ① 日本体育協会評議員会 | 2回 |
| ② 日本体育協会加盟団体事務局長会議 | 1回 |
| ③ 都道府県体育協会連合会総会 | 1回 |
| ④ 都道府県体育協会連合会事務局長研修会（東地区：北海道） | 1回 |
| ⑤ 都道府県体育協会事務局職員研修会 | 1回 |
| ⑥ 東北体育協会連合会総会（東北六県体育関係代表者会議） | 2回 |
| ⑦ スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会 | 2回 |